

事業所名 グループホームなでしこ

日付 平成 21 年 1 月 28 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

ホームヘルパー2級
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

グループホームなでしこは、駐車場が交通量の多い国道に接してあり、その奥に位置している。木造二階建ての建物はうっかりすると通り過ぎてしまいそうなくらい周囲の風景に溶け込んでいる。

玄関までは手すりの付いたU字型の迂回路が設けられている。その迂回路に沿った手入れの良い花壇に咲いているサルビアなど季節の花が見る人の心をいやしてくれる。建物の内部に入ると清掃がいきとどいていて、当該施設に特有の臭気というものを全く感じさせないくらい、換気や衛生に特に気をつけているようである。そんな気配りにも施設管理者や職員の優しさや温かさがうかがわれる。

病院が経営母体となっているので、医療との連携が円滑で、経験豊富な看護師が管理していることもあり、緊急時にも適切に対応できる体制をとって、職員も精神的な負担が少ない。

職員の手作りのお菓子が入居者のおやつとして供されたり、職員が持ってきた花が施設内に飾られたり、職員と入居者という関係を超えてほのぼのとした家族のような気持ちで接しているのが感じられた。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

・入居者の日常生活の様子を写真に撮って、それをその都度家族に送っているが、広報誌の発行が定期化していないので、家族への情報提供がやや限定的で、つながりが深まりにくい。
 ・季節の変化や外の空気を感ずる気分転換ができるような外出の機会が少ないようである。
 ・運営推進会議の趣旨やグループホームの役割について、正しい理解が得られるよう地域の代表者の参加が求められる。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>入居者が職員との会話を一緒に楽しめる、ゆったりと明るい雰囲気ของกลุ่มホームをめざしている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>毎日決まった時間にレクリエーションの時間を設け、職員や入居者同士が触れ合い、楽しい時間を過ごせるようにしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>利用者それぞれケアプランが違うので、画一的な対応ではなく個別に対応をしている。また、居室の入り口にはのれんが掛けられていて、居室の内部と外部との境界を表示し、プライバシーを護りながら、しかも完全にはさえぎられていない状況を作っていて、必要な場合は職員が声かけたりして、そっと内部をうかがう事もできる。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>病院が経営母体となっているので、リハビリなど多機能のサービスが提供できる長所を活かしている。また、ケアマネジャーや看護師が中心となり、自己評価や外部評価を活用して、職員全員がサービスの質の向上に努めている。</p>		